

火おこし「まいぎり式」

現代社会では味わうことができない「火をおこすことの苦勞」を体験し、「火の大切さ」を知ることができる活動である。さらに、火おこし後に焚き火をするなど、その他の活動と組み合わせることができる。

○時期…通年

○所要時間…1時間以上

○対象…小学校高学年以上

○定員…100名（1グループ5名以下）

○指導…前半に職員の説明あり

○自然の家から購入するもの

火きり板（購入）・火きりぎね（購入）



板はグループ1枚。

きねは1グループに2～3本。（1袋5本入り）

※きねについているやすりは、きねが本体にうまく入らなかった時に使います。

○自然の家が用意するもの

まいぎり式火おこし道具・麻ひも

もぐさ・チップ・火受け筒・板



○服装

汚れてもいい服装（化学繊維は避ける）・軍手

○活動手順

1. 集合場所に集まる。

2. 職員から火おこしの説明を聞く。

職員が
指導

3. 麻ひもを切ってほぐす。

4. 火おこしで火種を作る。



手のひらサイズで、ふわふわの綿あめみたいになるように作る。



5. 火種ができたら作っておいた麻ひもで包み、息をやさしくふきかける。

6. 火がおきたら火受け筒に置いてもぐさやチップで火を大きくする。
※いきなりぽっと火がつくので、顔を近づけすぎない。

引率者が
指導

7. 終了後、片付けと掃除をする。

- ・そのままき火をすることもできる。
- ・道具はまとめて置いておく。



Youtube「日高 sun 太ちゃんねる」でも動画を公開中。
上のQRコードを読み込むか、「日高 sun 太ちゃんねる」で検索してください。